

# 外部検証委員会（産業分野）次第

日時 令和元年 5 月 27 日（月）午後 3 時から  
場所 益子町役場休憩室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 配布資料の確認
- 4 案件
  - (1) 地方創生関連事業に関する実績検証
  - (2) 概要説明（産業建設部長（農政課長））
  - (3) 施策ごとの検証（シート每ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）
  - (4) 新ましこ未来計画の一部改訂について（概要説明：事務局、質疑対応：担当課）
  - (5) その他
- 5 閉会

## 配布資料

- 1 本次第
- 2 新ましこ未来計画の一部改訂について

## 外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式 2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後 10 日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（産業分野）議事録

日時	令和元年 5 月 27 日(月) 15:00～16:40	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	佐久間委員、鈴木委員、萩原委員、中村委員
	職員	大塚農政課長、福田観光商工課長
	事務局	佐藤係長、深谷
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート、事前質問・回答一覧	

発言者	発言要旨
委員	<p>1. 開会</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 配布資料確認</p> <p>4. 案件</p> <p>(1) 地方創生関連事業に関する実績検証</p> <p>1 枚目の資料に移住ターゲットが設定されているが、ラーニングバケーションの参加者はターゲットに合致しているのか。また、委託先 4 団体とは具体的にどういった団体か。</p>
観光商工課長	<p>参加者の町内外の割合では町外者が多い。リピーターに年度当初に案内していることもあり、リピーターが多い事業である。委託先の 4 団体の内訳は、小麦栽培が七井地区の橋本氏、藍染が山崎農園、料理教室が里山ガールズ、野菜収穫は道の駅社員がコーディネートを行っている。</p>
委員	<p>全国の自治体に移住・定住の取組を実施しているが、新幹線通勤の助成金がある自治体の小山市と那須塩原市は JR とコラボし、生活環境を体験するツアーを実施した。ラーニングバケーションも移住・定住を意識しても良いと感じている。真岡市でも同様な事業を実施している。</p>
事務局	<p>この検証方法の特性上分かれてしまっているが、移住・定住に特化した事業は暮らし分野で実施している。</p>
委員	<p>了解した。</p>
委員	<p>ツール・ド・とちぎは 2 年前に観戦したが、一瞬で通り過ぎてしまい 70 万円の支出する価値が感じられなかった。レースに合わせて、物販を行うなど地域でファンサービスをするなどの取組が必要である。</p>
委員	<p>70 万円の負担額は県から要請があるのか。</p>

事務局	スタート、ゴール地点は恩恵が大きいこともあり負担金額も大きい。益子は通過するだけの町となっている。
委員	スタート・ゴール地点の自治体を移動しながらやっていくべきと考える。
事務局	担当者にご意見をお伝えしたい。
委員	ましこ悠和館は6月12日にオープンするとのことだが、サービスは宿泊と食事か。事業者は東京の企業と思ったが、業者名は。また、運営は益子の人か。営業の期間は何年くらいを予定しているのか。また、町には収入として3%入るといふことか。
観光商工課長	株式会社サンアメニティという東京の業者である。食事については、運営状況に応じて運営者の判断になるが当初は宿泊者に限定し、追ってカフェ営業もスタートすることを想定している。営業の期間は5年間を予定し、町の収入は売上げの3%である。
委員	ホームページはまだなく、広告宣伝等の運営費用は全て事業者持ちということか。
観光商工課長	その通りである。
委員	運営費用は、町は一切持たないのか。また、上皇陛下にお越しいただけると嬉しい。
観光商工課長	事業者への支援は今のところ考えていない。宮内庁にも案内をしたい。
委員	3枚目の資料について、観光戦略アドバイザー委託の指標が海外向けコンテンツの閲覧回数とはどういったことか。
観光商工課長	海外からのホームページの閲覧数ということである。
委員	173というのは少ないのではないか。
観光商工課長	期間を限定して公開しているページであるため少なくなっている。
委員	農業分野開発中商品9品とあるが、茂木町のバウムクーヘンやゆず塩ラーメンのようなヒット商品は出そうか。
農政課長	出したい。現状では、道の駅で販売する商品の生産が間に合わないため加工所の増設を予定しており、プリンに加え、町内産の果物を使用したスイーツの開発をした

	いと考えている。
委員	茂木町のゆず塩ラーメンは道の駅グルメ No.1 決定戦にてグランプリを2年連続獲得しており、そういった話題性から人気が出ている。コンテスト出展には品目として大衆的なラーメンややきそば等は適しているが、ましこのごはんは凝っていることもありコンテスト向きではないと思われる。
農政課長	ましこのごはんは遠方からのお客様がここでしか食べられないという感覚で食べている。
委員	那須町では、九尾の狐にちなんだ9種類の食材を使ったランチがあるが、はやっていないのではないかと。品数が多いよりも、簡単に食べられる立ち食いそば感覚の方が、人気が出るのでは。
農政課長	道の駅はお昼時に労働者が立ち寄ることも多く、弁当の人気がある。
委員	来場者が増えているので、メインとして打ち出せるものがあるとよい。
委員	茂木は10億円、益子も伸びて6億円の売り上げとなった。関係者の間でも今後何を作っていくのかという発想になっていくだろう。
委員	基本は農産物か。ヒット商品を出すための研究費用はもっと出しても良いのでは。
農政課長	小泉・本沼地区で畑の土地改良を行っている。野菜が作付の中心となるため、販路として道の駅に出荷していただきたい。道の駅は、品揃えが重要であるが、年中安定して商品を供給することが求められている。
委員	道の駅の商品の日光による日焼け問題は解消したのか。
農政課長	スクリーンを取り付けたことにより解消した。
委員	見込値とは目標値か。
事務局	その通りである。
農政課長	(2) 概要説明
	(3) 施策ごとの検証
	<b>○P.32 施策1 農業生産体制の整備</b>
委員	小泉・本沼地区の土地改良の着工はいつか。しょうがの作付の試験をやっていると

	いうことだがどのような感じか。
農政課長	秋に本沼から着工する計画である。しょうがは、振興事務所に入ってもらって試験をしているが、この地区でこの作物というのがまだ決まらずに調整している。
委員	葉タバコは、商品単価も下落しているので葉タバコに代わるものを作りたい。水の問題で高台は厳しい。
農政課長	入山池の水を水田にも利用しているが、分けてもらえるかどうか協議をしているほか、地下水の利用なども検討しており、現在水源についても探っているところである。
委員	<p><b>○P.34 施策2 地域農産物の販路開拓</b></p> <p>来場者数は順調であるようだ。</p>
委員	<p><b>○P.36 施策1 商店の活性化と起業支援の充実</b></p> <p>こちらも順調、新規出店により本通りにもぎやかになった印象がある。今年も予算をつけているか。</p>
観光商工課長	昨年度と同様で新規起業が 300 万円、賃借料 50 万円で予算計上している。
委員	<p><b>○P.37 施策2 ものづくりの育成・支援</b></p> <p>選定基準が以前から決まっていなかったがどうなったか。</p>
農政課長	農政サイドでは、審査委員会を組織し委員会を一度開催した。益子のブランドイメージを聞き取りしそれぞれの意見をもとに、先行して食品の認証の仕組みをつくりたい。益子を代表するブランドになるもの、既存のものではなく新しく生み出すものを想定している。
委員	メンバー 6 名とはどういった方か。
農政課長	地域の有識者、宇都宮大学教授、県振興事務所、商工会女性部長、道の駅社員である。
委員	ブランドを生み出すとしても、ある程度の情報をもらわないとイメージできない。進まないのでも情報を開示してほしい。他地域で認定しているものがあるが、認定してその後どうなったかが重要である。有名になっているところでは、下仁田ねぎや烏山地域の中山かぼちゃなどがある。益子町でそういったものを生み出すことができるのか不安もあるが。

委員	そろそろ進めていかないといけないと思うが。
農政課長	農産物だけでなく、商工部門と進めるときにどうするかを検討したい。
委員	深沢直人さんのプロジェクトも見えてこない。すべてロクロで制作し、製品へのこだわりはあるが情報が見えない。
委員	イデーで扱ったら知名度は上がると思うが。
委員	益子焼というよりも深沢さんの名前の効果ではないか。ロイヤリティの支払いもある。最初は益子のデザインを作るというコンセプトで始まったと思うが、デザイナーの名前がずっと付いて回るのは良くない。裏にハンコも押してあり伝統的工芸品である益子焼にならない。権利も益子にはない。
観光商工課長	契約内容は販売店で検討している。
委員	悠和館の収入として3%は当初は仕方ないにしても、ずっとだと町に利益が上がらない。
観光商工課長	町内の他施設が3%であることから、足並みをそろえている。
	<b>○P.38 施策3 「世界一」人が集う焼きものの町づくり</b>
委員	益子焼総販売額38億円は難しい。中村委員がいちばんわかっているか。
委員	調査対象に陶器市は入らないか。
観光商工課長	今年の年末に調査を実施するためその時点での目標値となる。
委員	今春からキャッシュレス化を推進していたが、ペイペイなど電子決済でのデータは利用できないか。カード会社に照会すれば開示するか。
委員	しないと思われる。
委員	今年は10連休の割には、良かったと聞かない。
委員	来場者は多かったか。
観光商工課長	1日あたりは少ないが、全体では日数が1日多かったため多い。

委員	秋は消費税増税もあり落ち込むと見込んでいる。
	<b>○P.39 施策4 就労支援と雇用創出</b>
委員	窯業指導所には10人入ったが業界での雇用は全員を網羅できない。そのため、窯業をやりたい人は他の産地に流れることになると思われる。
委員	企業誘致はいかがか。
観光商工課長	企業誘致は新未来計画でも特出し項目として記載しておらず、雇用を優先している。県を經由した問い合わせがあることがあるが、町内の工業団地は敷地が3つあり空きがない状況である。1か所空きがあったが、昨年度伊藤商会が入居した。
委員	なぜ益子を選んだのか。雇用はどのくらい生まれているのか。
観光商工課長	真岡工業団地より安いので、価格が一番の決め手ではないか。雇用は町民数のみ把握している。
委員	区画が埋まっているので増設できないか。
観光商工課長	隣接する土地の形態があまり適していない。
	<b>○P.40 施策1 観光客誘客の拡大</b>
委員	宿泊者数伸びているがどこが伸びているのか。悠和館もできることもあり、観光戦略会議においてさらに検討を重ねれば、民泊も含めて今後さらに伸びる可能性が高いか。
観光商工課長	益子館、民宿古木の宿泊者数も多い。
委員	陶器市やツインリンクのイベント時は、町内は満室となる状況。民泊は年間200日の上限があり、今後民泊により繁忙期を狙って実施すると良いと思われる。副業にもなるため、町民向けに民泊の説明会を開いても良い。町民は情報がないと思われる。
委員	益子の人には民泊に抵抗がないのか。その他の宿泊施設より不便だが、利用者に理解してもらえるのか。
委員	家の間取りにもよるだろうが、収入にもなるため興味がある人もいると思われる。
委員	観光客入込数が伸びているようだが。

観光商工課長	現在270万人である。道の駅を除いても、予定通りの伸びである。
委員	平日の城内坂も人がいるので伸びている実感がある。
委員	<b>○P.42 施策2 外国人観光客（インバウンド）の誘客</b> 今後も伸びていくだろうと思うが、欧米系が多いか。
委員	観光イチゴ園には中国、タイが多い。今年は昨年より10倍以上多い実感がある。団体より個人客が多い。
委員	アジア人は話しをしないと見分けがつかない。
観光商工課長	宿泊者数はアジア系4割、欧米4割、オーストラリア2割。アジアの内訳は台湾が多い。
委員	焼き物の輸出は伸びているのか。
観光商工課長	定期的に注文は受けているとのこと。数は把握していない。
	<b>(4) 新ましこ未来計画の一部改定について</b> 異議なし
	<b>(5) その他</b>
事務局	外部検証・意見シートは今月中目安に、本日または2週間以内にご提出お願いいたします。
	<b>5. 閉会</b>